



早めの服用が効果的

—スギ花粉症の初期療法—

指導：日本医科大学耳鼻咽喉科 准教授

大久保 公裕

企画：
日本医師会

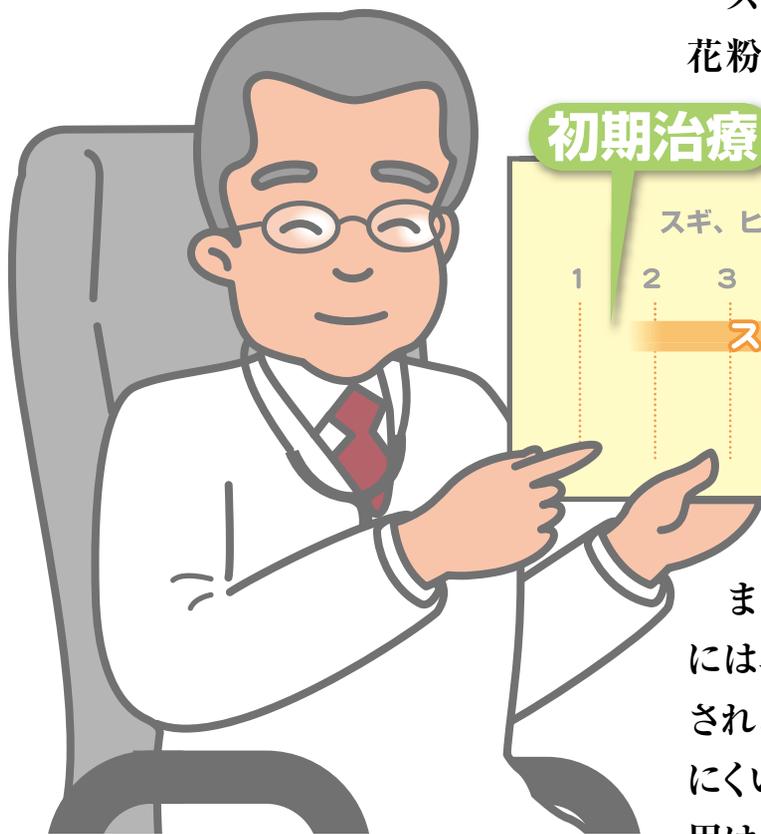
No. 284

薬物療法が一般的です

ひとくちにスギ花粉症といっても、くしゃみ、鼻水などの症状によってさまざまです。治療としては、薬物療法や、アレルギーの原因を取り除いたり、アレルギーの物質にだんだん体を慣れさせるなど、患者さんに応じた治療が行われますが、そのうち最も一般的なものは薬物療法です。

花粉が飛ぶ前から「初期治療」が受けられます

スギ花粉症では少しの花粉でも反応が出る人がいるため、花粉飛散開始日前からでも治療を始めることが「初期治療」として認められています。



初期治療



症状として、くしゃみや鼻水が出るタイプ、鼻がつまるタイプ、両方ともあるタイプなどがありますが、それぞれに合った薬が選ばれます。薬によっては、眠くなる成分が入っているもの、ぜんそくにも効くものなどもあり、症状によって慎重に処方されています。

また、これらの薬を飲んでいても症状が悪化してきた場合には、鼻にスプレーする鼻噴霧用ステロイド薬が同時に処方されることもあります。ステロイド薬は鼻粘膜からは吸収されにくいので、全身的な影響や副作用はほとんどありません。



薬を理解して、きちんと服用しましょう

症状が変化した場合に、飲み薬が追加されることもあります。最終的には、飲み薬と鼻噴霧などの薬をうまく組み合わせた治療が行われますから、医師の指示をきちんと守りましょう。

市販薬（OTC）を使うのもひとつの方法ですが、ふだん症状の軽い患者さんが、症状が悪化する前に一時的に使うものと考えてください。市販薬といっても副作用が考えられますから、ぜひかかりつけの医師に相談してください。

◆待合室等に掲示し、患者さんにお見せください。